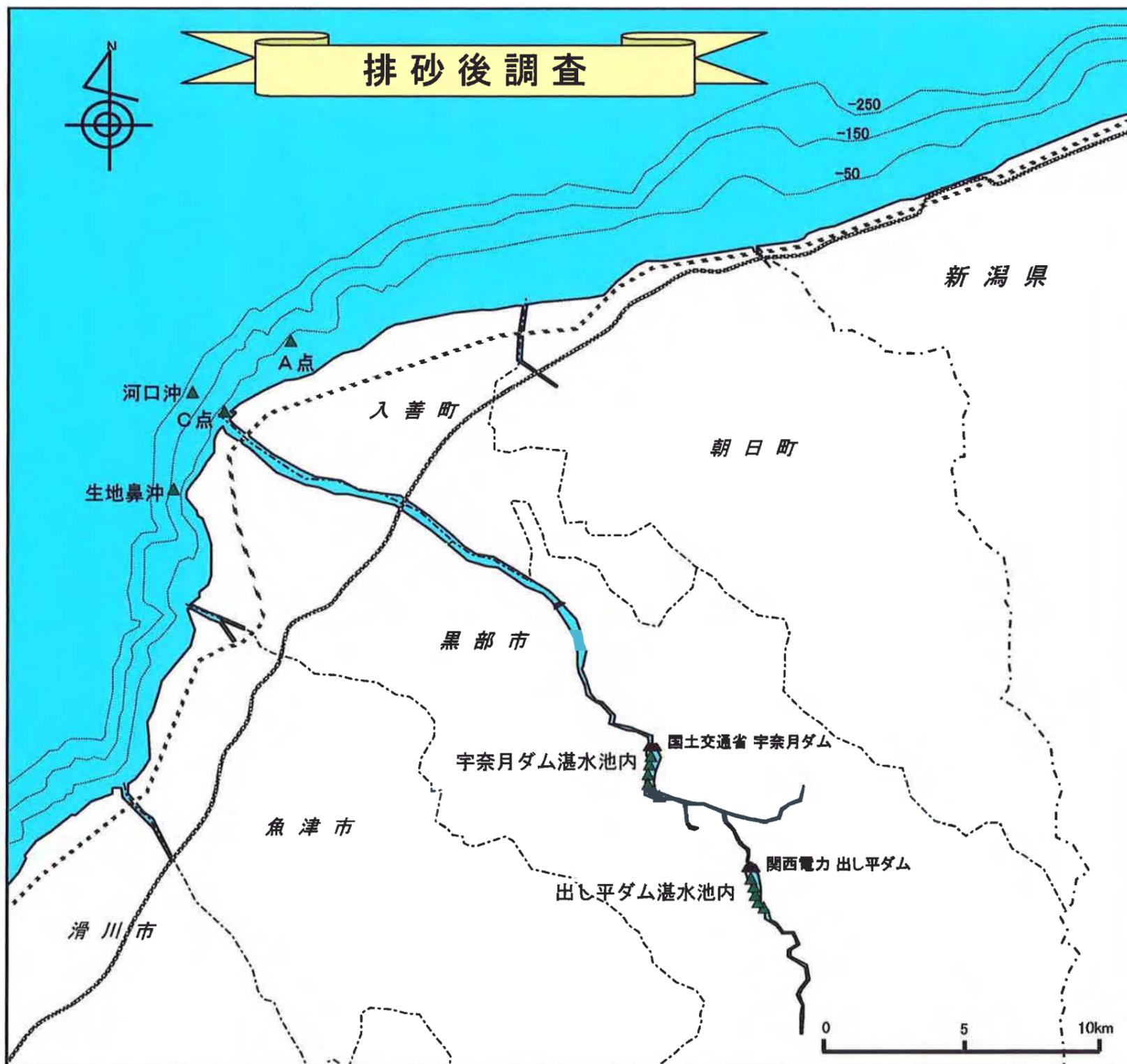


底質調査位置図

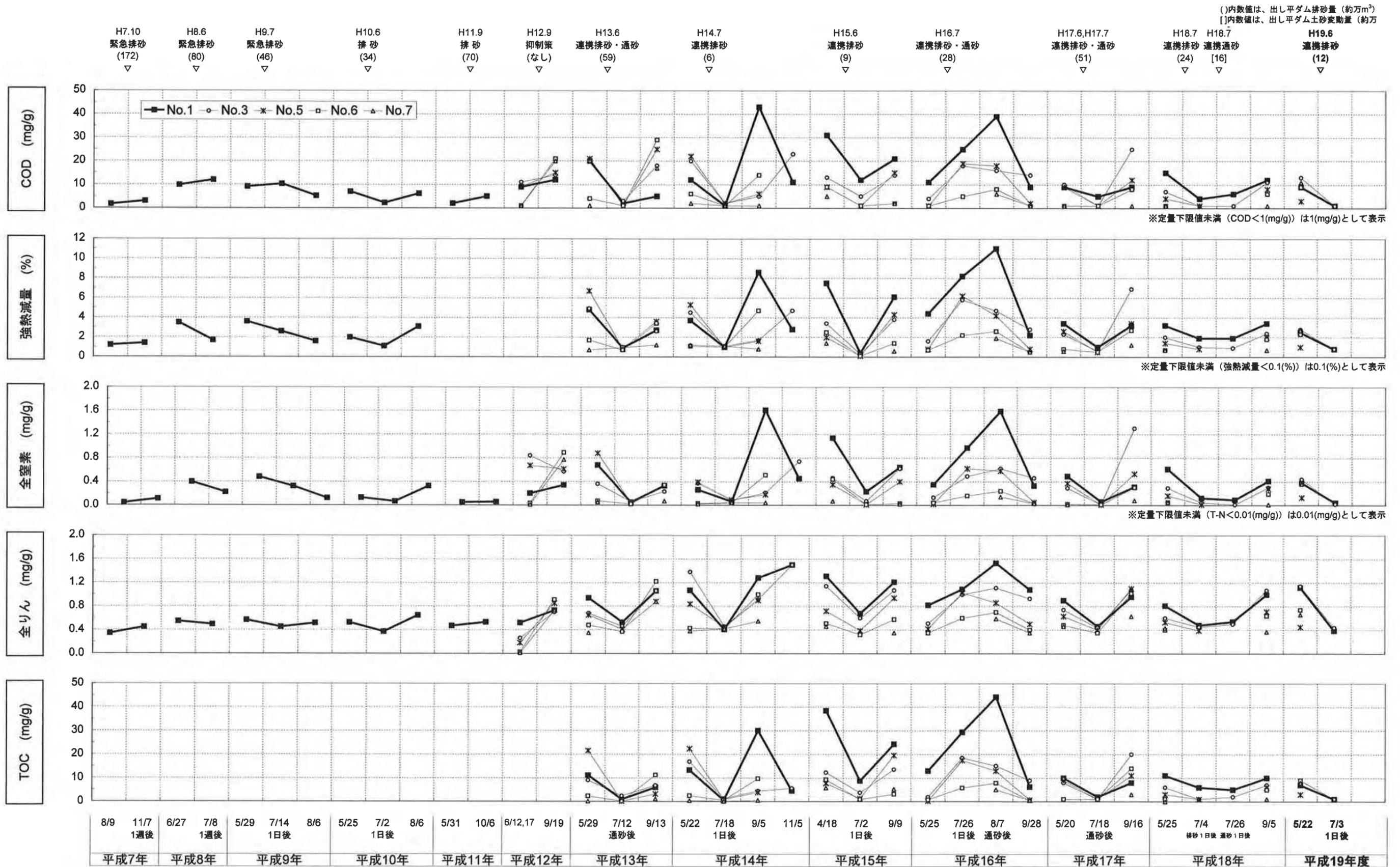


凡 例

- ▲ : 底質調査
(出し平ダム : 5地点)
(宇奈月ダム : 6地点)
(海 域 : 4地点)

出し平ダム湛水池 底質 (1/2)

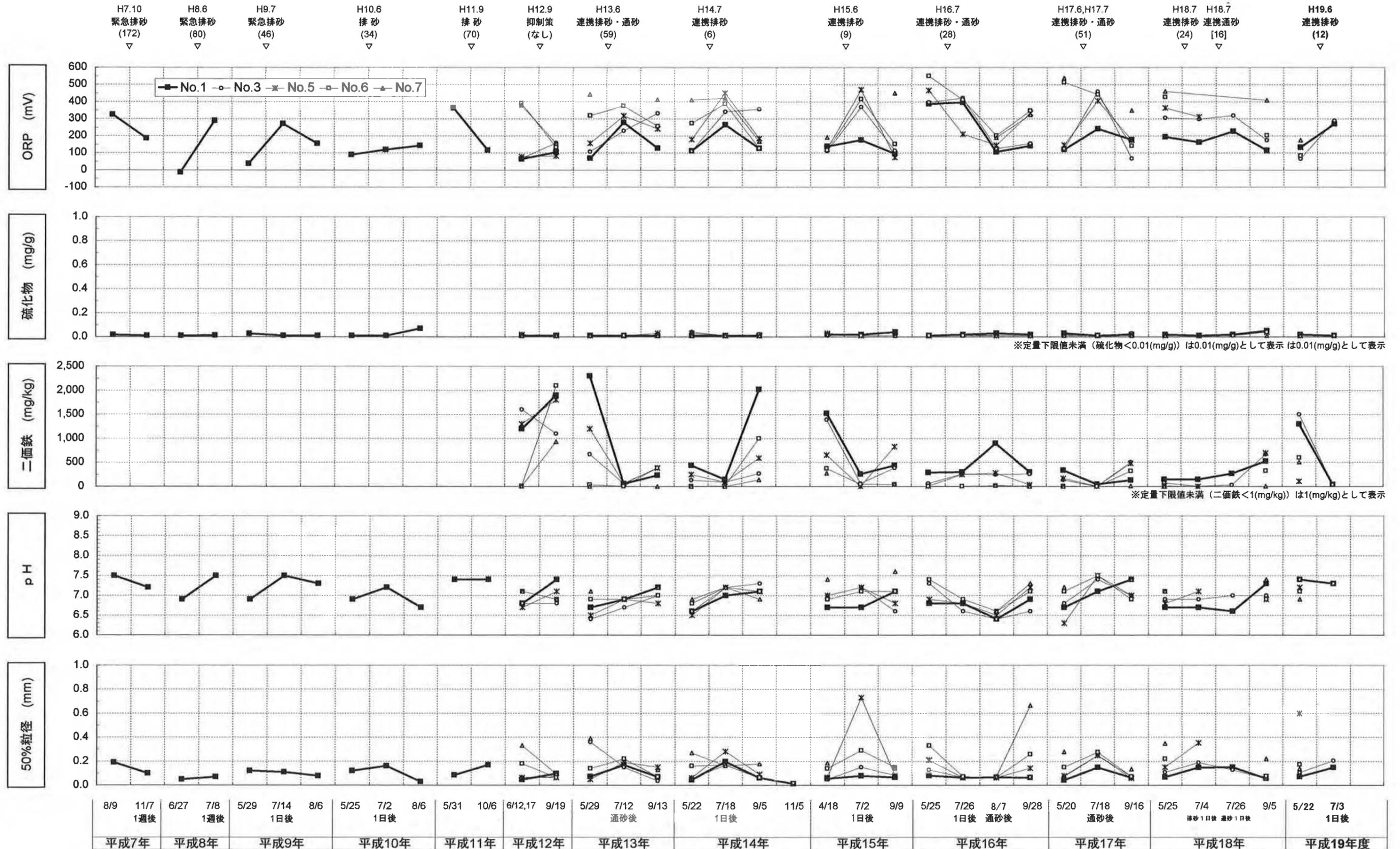
平成18年までと同様に、5月調査時に比較し排砂1日後にはCOD、強熱減量、T-N、T-Pが減少した。



出し平ダム湛水池 底質 (2/2)

還元性の指標（ORP、二価鉄、硫化物）については、5月調査時に比較し排砂1日後は酸化傾向を示した。
排砂1日後の粒度組成（50%粒径）については、5月調査時に比較し粗くなった。

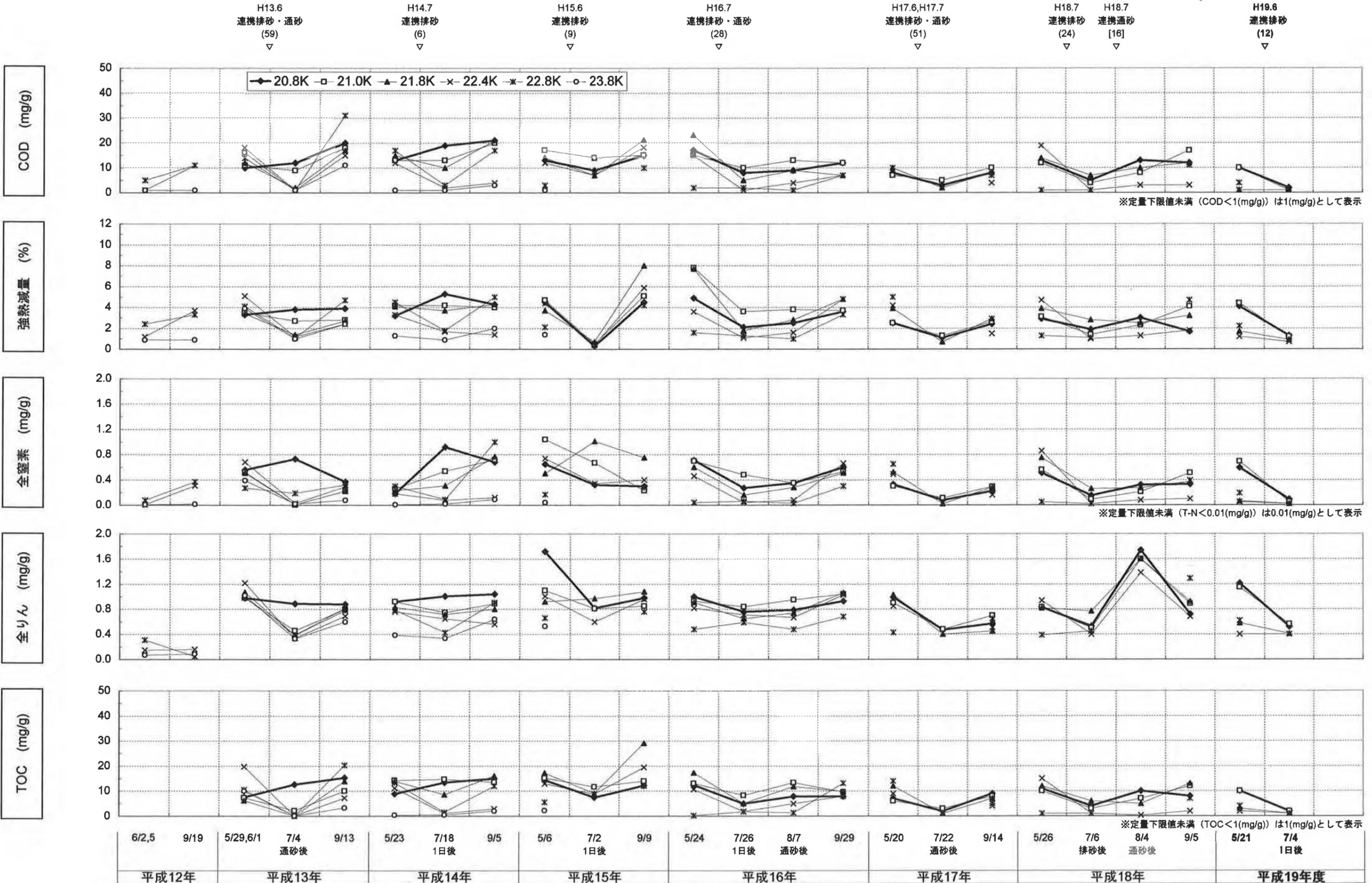
()内数値は、出し平ダム排砂量（約万m³）
[]内数値は、出し平ダム土砂変動量（約万



宇奈月ダム湛水池 底質 (1/2)

平成15~18年までと同様に、5月調査時に比較し排砂1日後にはCOD、強熱減量、T-N、T-P、TOCが減少した。

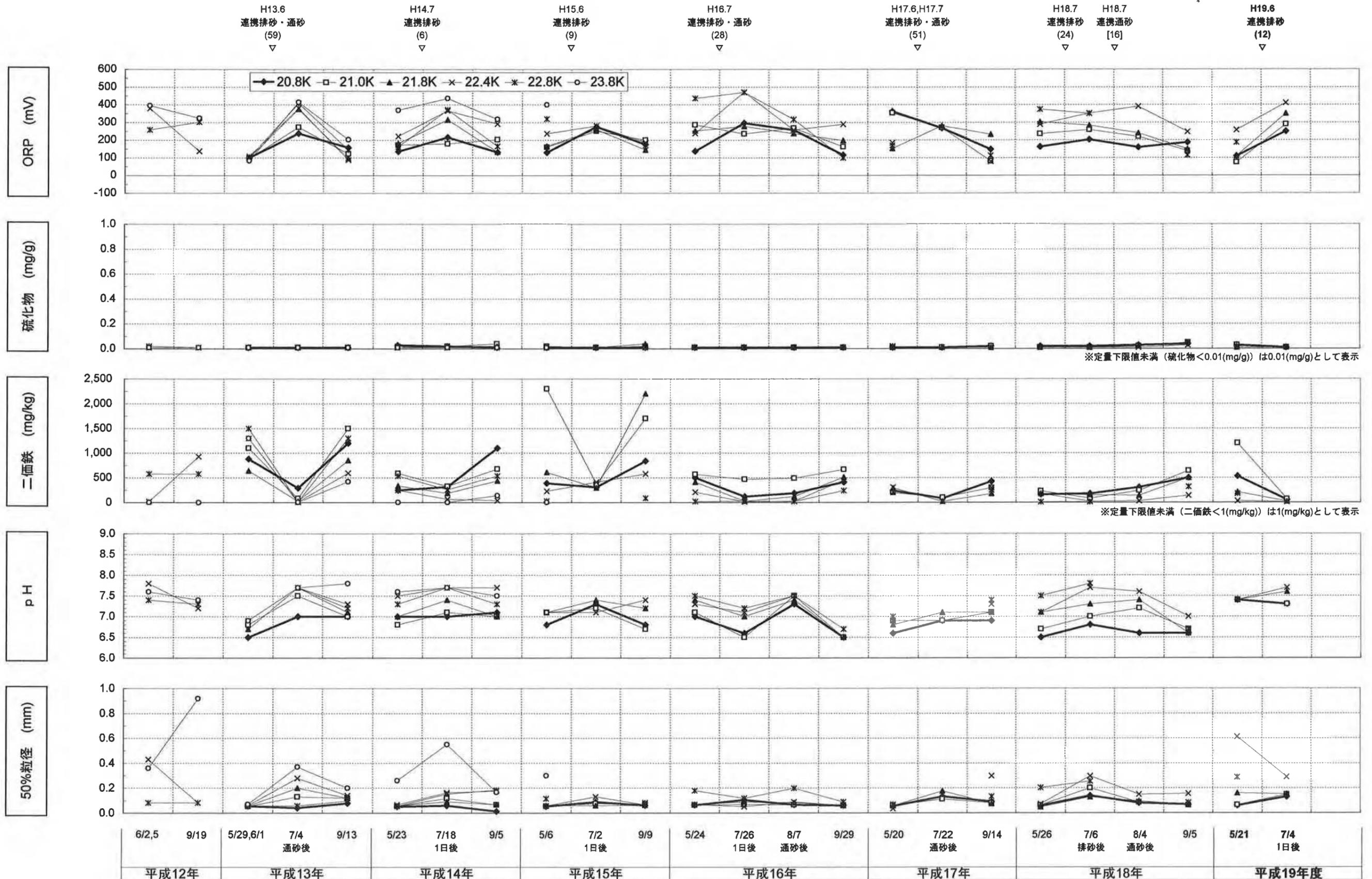
()内数値は、出し平ダム排砂量 (約万m³)
 []内数値は、出し平ダム土砂変動量 (約万)



宇奈月ダム湛水池 底質 (2/2)

還元性の指標（ORP、二価鉄、硫化物）については、5月調査時に比較し排砂1日後は酸化傾向を示した。
 排砂1日後の粒度組成（50%粒径）については、5月調査時に比較し20.8K、21.0K地点では粒径が粗くなり、21.8K、22.4K地点では細くなった。

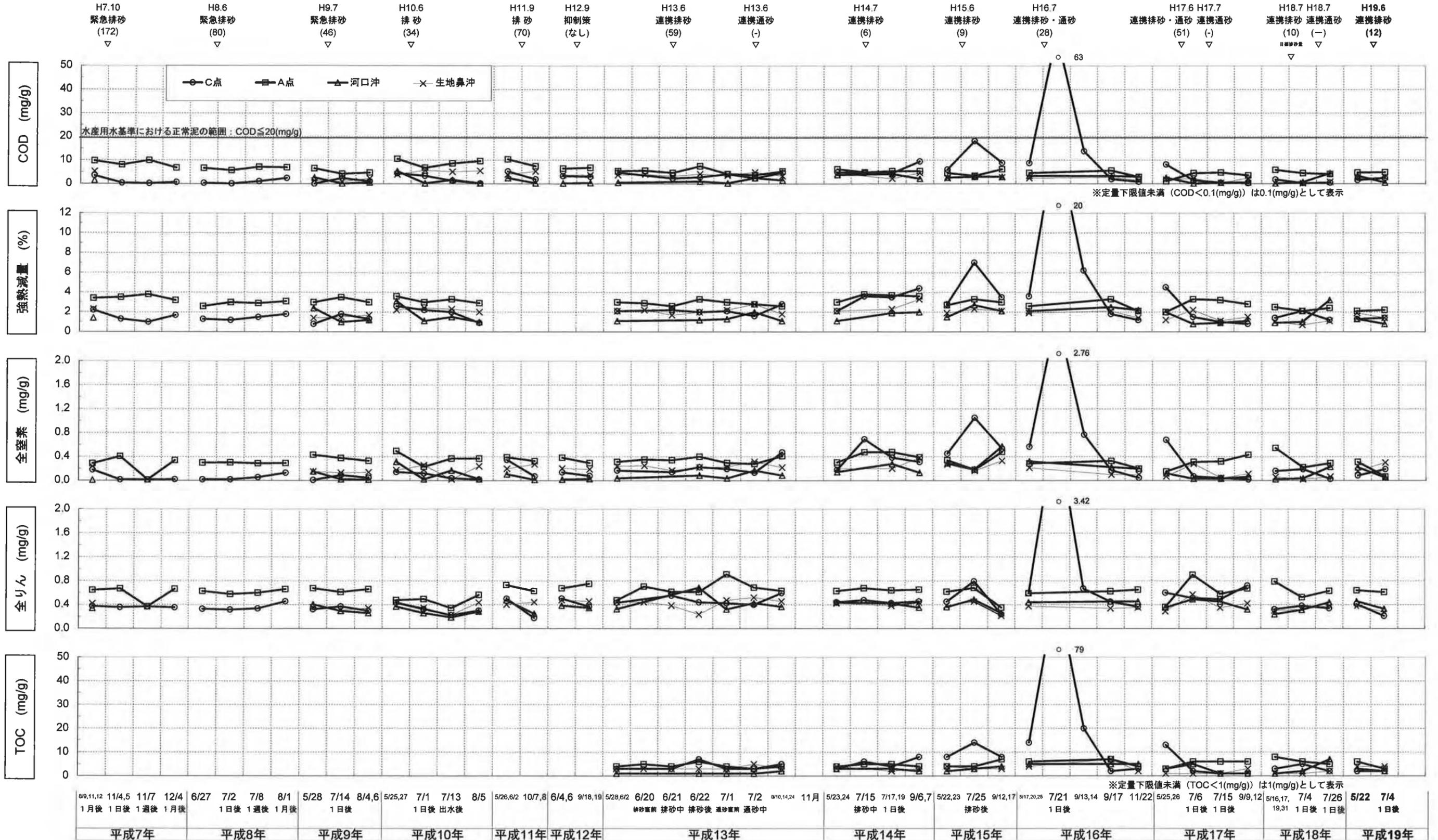
()内数値は、出し平ダム排砂量（約万m³）
 []内数値は、出し平ダム土砂変動量（約万



海域 底質 (代表4地点) (1/2)

5月調査時、排砂1日後調査時とも過去の観測値の範囲内であった。
 CODは、水産用水基準における正常泥の範囲内 (COD \leq 20(mg/g)) であった。

()内数値は、出し平ダム排砂量 (約万m³)



海域 底質 (代表 4 地点) (2/2)

5月調査時、排砂1日後調査時とも過去の観測値の範囲内であった。
 硫化物について、5月調査時にA点で水産用水基準における正常泥の範囲(硫化物 $\leq 0.2(\text{mg/g})$)より高い値を示したが、排砂1日後調査時には各地点とも正常泥の範囲内であった。

()内数値は、出し平ダム排砂量(約万 m^3)

